

JFEシビル、立体駐車場を受注

成田国際空港向け、17億円

JFEシビル(社長・藤井善英氏)は22日、成田国際空港から「成田国際空港T1地区立体駐車場整備工事」を受注したと発表した。受注額は約17億7千万円。同社の自走式立体駐車場「メタルパーク」が採用された。供用開始は来年7月の予定で、成田国際空港からの受注は4件目。

建設するのは5層6段、約800台収容の第1ターミナル用の立体駐車場。成田国際空港は駐車場の整備に加え、消火設備が簡易などの特長を持つ。建築確認申請の簡略化も可能となるなどメリットは多い。認定は1層2段から5層6段まで取得しており、規模に応じた対応が可能となる。空港施設の立体駐車場を巡っては成田のほか中部国際空港、青森空港、松山空港、新千歳空港、那覇空港などの実績を有する。同社では今後も積極的な拡販に努めていく方針。